

## アクションプラン2 温かい人間関係づくり『思いやりのある言葉遣いや行動ができる子供』

### 重点課題 お互いに気持ちがよくなる挨拶ができる子供を育てる

#### 1 達成目標

- ・「校内あいさつ名人」に認定される児童が92人以上（児童数の50%以上）

#### 2 これまでの取組

##### 進んであいさつ ～あいさつ名人を目指そう～

- ・「相手の目を見て」「元気よく」「自分から」挨拶ができる子供を「あいさつ名人」とすることを決め、執行部が「あいさつ名人を目指そう」と全校に呼びかけた。それを受け、気持ちのよい挨拶について各クラスで考えた。
- ・毎月、子供や教師があいさつ名人の推薦を行い、全校集会で発表した。また、あいさつ名人に認定された子供の写真を多目的ホールに掲示したり、3回認定された「殿堂入り」の子供の名前も掲示したりすることで、挨拶に対する意識や意欲をさらに高めるようにした。
- ・毎月2回、縦割り班ごとに玄関に立ち、「おはようございます」と声をかけるあいさつ運動にも取り組んだことで、元気よく挨拶ができるようになってきた。



<多目的ホールに掲示した

あいさつ名人の集合写真>

#### 3 結果

##### 「校内あいさつ名人」認定者数

(人)

学年 月	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校
6月	0	3	1	3	2	3	<b>12</b>
7月	2	3	4	2	5	3	<b>19</b>
9月	4	6	3	3	10	2	<b>28</b>
10月	5	6	2	3	6	4	<b>26</b>
11月	11	14	18	14	18	15	<b>90</b>
12月	15	20	17	15	21	23	<b>111</b>
1月	11	21	21	18	21	19	<b>111</b>

#### 4 考察

12月と1月に目標としていた92人を越える111人が認定者となった。この数は、全校児童数の約60%に当たる。また、1月までに3回以上認定された殿堂入りの児童数は76人となり、これは全校児童数の約40%に当たる。

認定者数が11月から増加しているのは、名人の推薦方法を教師のみの推薦に子供同士の推薦を加えたためと考えられる。子供同士で評価し、認め合うことで、挨拶への関心が高まり、進んで挨拶をする姿となった。全校集会で発表されることや、殿堂入り制度も挨拶への意欲向上につながったと考える。

#### 5 今後の課題

子供同士や子供と教師の挨拶、地域の方との挨拶等、挨拶をさらにをさらに広げていくことや、気持ちのよい挨拶をすること等、挨拶の質を高めていくことが課題である。